



株式会社
綾川葬祭

お葬式の不安を安心へかえていく心の準備をするために。

Vol.6

終活通信

8月OPEN!

綾歌・飯山会館 (一般葬・家族葬)



香川の「葬儀社二代目」がお葬式について伝えたいことを発信致します。

伊藤 雄介 (いとう ゆうすけ)
株式会社 綾川葬祭 常務取締役
昭和58年生まれ
平成19年 日本体育大学卒業
香川県警察勤務
交番勤務～警護～外国人犯罪取締
平成24年から現職
レスリング インターハイ3位
国体9度出場 柔道二段
綾川町商工会青年部副部長
綾川レスリングクラブ指導員
香川県警察少年警察補導員、警友会
社会人プロレス「TOPG」所属
キャプテン・アヤガワ



かかりつけの葬儀屋さん

インフォームドコンセント、この言葉を聞かれたことはあるでしょうか。「正しい情報を得たうえででの合意」を意味し、主に医療行為で使用されます。よく説明を受け十分理解したうえで、自らの気持ちに基づいて医師と合意することを前提としています。ここで、ポイントとなるのはその「説明」「理解」そして「合意」です。このいずれが欠けてもいけません。例えば、説明を受ける側の患者が、あまりよく理解しないまま、「おまかせします」といってしまう場合や、逆に医師がよくわかる説明をせず、半ば同意を誘導させるような意図的になる場合は、正しいインフォームドコンセントとはいえません。正しく説明を受け、よく理解できたうえで、「その治療法を拒否いたします」と伝えるのは、認められています。葬儀の世界と、とてもよく似ていると思います。

治療も含めまして、人生で直面するほとんどの事柄は複数ある選択肢から選んで決めなければなりません。情報を得て考える、悩んで相談して、そして、決断する、その繰り返しです。そのため、専門家がわかりやすい言葉で、理解してもらえようように説明をし、それを受ける側は、きちんと理解して考えて決める、これは極めてあたりまえのことなのです。決して少ないとはいえないお葬式にかかる金額、そして、なによりも人の最期の儀式である大切なお葬式に関して、これまで医療でいうインフォームドコンセントのような時間がなかったことは、正しいとはとてもいえません。かかりつけのお医者さんにいるいろいろ相談をしたり、診察をしていただいたりしているうちに、大きな安心感が生まれてくることは多くあります。時にはその安心感が、体調に好影響を及ぼすこともあるかもしれません。大きな病院には最新の設備もあることでしょう。そういった施設や設備を使うという選択をせざるを得ないときも多々あることと思います。しかしながら、きちんとしたインフォームドコンセントをしていくなかったり、こちらの気持ちをじっくりと聞いてくれなかったりしたら、どんなに不安でしょう。お葬式に関してもまったく同じです。最後は人です。いくら大きな葬儀社でも、または、とても小さな葬儀社でも担当してくださるのは、人です。皆様がかかりつけの葬儀屋さんとお会いすることを祈っています。



セレモニーホール綾川 綾歌郡綾川町萱原484
(家族葬専門会館 OPEN!)
法道寺会館 綾歌郡綾川町山田下2056



国分寺会館 高松市国分寺町柏原985-1
(メモリアルホール・ファミリーホール・葬ホール・法要会館)



香川県の書店にて発売中!

綾川葬祭 伊藤雄介 著
『やさしいお葬式 人生の終わりとはいまじり』
定価 1300円+税 (発行 本分社) ISBN 978-4-9908279-7-7

株式会社 **綾川葬祭** TEL 087-876-4775

綾川葬祭 検索
www.ayagawa-sousai.co.jp/